

暮らしに役立つ情報満載!

FP FPの家

# 住まいのニュース

2026 6 vol.187

今月の特集

## 湿気と熱を逃がす 「屋根裏・小屋裏」の重要性

長雨が続く6月、住まいの中で最も過酷な状況にあるのが「屋根裏(小屋裏)」です。目に見えない場所だからこそ、そこにある湿気や熱への対策が、住まいの寿命、そして家族の「いのち」を守る鍵となることをご存知でしょうか。

### 見えない場所の「結露」が 住まいの体幹を蝕む

梅雨の時期、私たちがリビングでジメジメとした不快感を感じているとき、屋根のすぐ下にある小屋裏空間には、さらに過酷な湿気が滞留しています。雨の日が続く、小屋裏の換気や通気が十分でなかったり、天井の小さなすき間から湿った空気が入り込んだりすると、湿気が溜まりやすくなります。

そこで注意したいのが「内部結露」です。冬の窓ガラスに付く結露とは異なり、屋根裏の断熱材の裏側や構造材の表面で発生する結露は、普段の生活では気づくことができません。この湿気が長期間放置されると、柱や梁を腐食させ、さらにはカビやシロアリを呼び寄せる原因となります。構造の弱体化は、地震などの災害時に家が家族を守る力を奪うことと同義です。

また、屋根裏にこもった熱や湿気は、2階の寝室などの室温を押し上げるだけでなく、家全体の空気質にも悪影響を及ぼします。カビの胞子が室内へ漏れ出せば、喘息やアレルギーなどの健康被害を引き起こすリスクも高まります。

本来、屋根裏には適切な「通気」が

必要です。外気を取り入れ、湿った空気を効率よく排出するルートが確保されていなければなりません。しかし、現代の気密化された住宅において、この通気を自然任せにするのは困難です。家全体の換気経路の一部として、小屋裏まで含めた「淀みのない空気の流れ」を設計段階から組み込んでおくこと。それが、目に見えない場所から住まいの安全を支え続けるための絶対条件なのです。

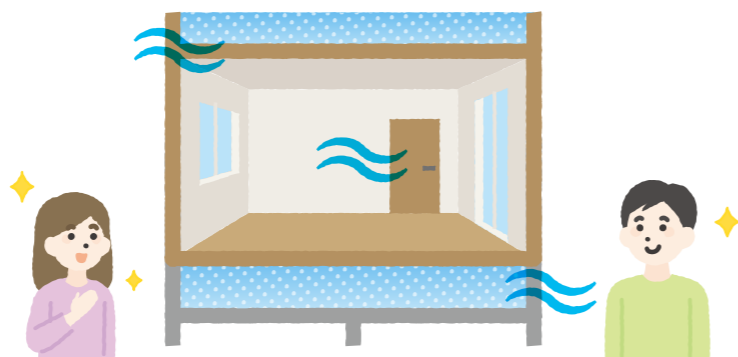
### FPパネルと精密な施工が 「小屋裏の健康」を維持する

この難題に対し、理想の実現しているのが「FPの家」です。その鍵を握るのは、水分をほとんど通さない高密度な「FPウレタン断熱パネル」と、それを現場で隙間なく組み上げる職人

たちの徹底した気密施工にあります。

どれほど優れた断熱材を使っても、接合部にわずかな隙間があれば、そこが湿気の通り道となり結露のリスクを招きます。だからこそ「FPの家」は、熟練の技術で一棟一棟丁寧に気密を担保することに心血を注いでいます。この極めて高い気密性能があつて初めて、24時間計画換気が設計通りに小屋裏の隅々まで機能し、淀んだ湿気を確実に排出することが可能になるのです。

構造材を常に乾燥した状態に保ち、家の強度を新築時のまま維持し続けること。それは、予期せぬ災害から大切な家族を、そして健やかな毎日を、文字通り「くらしのいのちを守るため」の家づくりの本質です。私たち「FPの家」は、目に見えない場所への誠実な施工を通じて、あなたの理想の暮らしを支え続けます。



## 住まいの知恵袋

### ジメジメを抑える調湿アイデア



湿度が急上昇する梅雨時は、除湿機などの家電だけに頼らない「調湿」の知恵を暮らしに採り入れてみませんか。おすすめは、電気を使わずに湿気をコントロールできる自然素材の活用です。例えば、多孔質で吸湿性に優れた「珪藻土」や「エコカラット」などの壁材は、表面にある無数の微細な穴が余分な湿気を吸い取り、乾燥時には蓄えた水分を放出して室内を理想的な環境に保ちます。もっと手軽な方法では、クローゼットや靴箱といった閉鎖的な空間に「炭」を置くだけでも高い効果が得られます。湿気と一緒に気になるニオイも吸着してくれるため、一石二鳥です。インテリアに馴染む自然素材を上手に配置して、ジメジメした季節を賢く、心地よく乗り切りましょう。

湿度が急上昇する梅雨時は、除湿機などの家電だけに頼らない「調湿」の知恵を暮らしに採り入れてみませんか。おすすめは、電気を使わずに湿気をコントロールできる自然素材の活用です。例えば、多孔質で吸湿性に優れた「珪藻土」や「エコカラット」などの壁材は、表面にある無数の微細な穴が余分な湿気を吸い取り、乾燥時には蓄えた水分を放出して室内を理想的な環境に保ちます。もっと手軽な方法では、クローゼットや靴箱といった閉鎖的な空間に「炭」を置くだけでも高い効果が得られます。湿気と一緒に気になるニオイも吸着してくれるため、一石二鳥です。インテリアに馴染む自然素材を上手に配置して、ジメジメした季節を賢く、心地よく乗り切りましょう。

## お金の豆知識

### 住民税と「ふるさと納税」の確認

6月は自治体から「住民税決定通知書」が届く時期です。ここで必ず確認したいのが、昨年行った「ふるさと納税」の控除が正しく適用されているかという点。「税額控除額」の欄をチェックし、寄付金から自己負担額を除いた金額が反映されているか確かめましょう。税金の仕組みを正しく把握することは、家計防衛の第一歩です。



## 暮らしの1ポイント

### 「生乾き臭」を防ぐコツ

雨が続く時期のお悩みの「生乾き臭」の原因は菌の繁殖です。洗濯機に洗濯物を詰め込みすぎず、除菌効果のある洗剤を活用しましょう。また、洗濯物を干す際は、長い衣類を両端に、短いものを中央にする「アーチ干し」が基本。空気が通りやすくなり、サーキュレーターを併用すれば乾燥時間を大幅に短縮できます。



## できた! 簡単DIY

### 端材で作る「ミニ消臭ポット」



湿気やニオイが籠もりがちな6月、端材や空き瓶を使って「消臭ポット」を手作りしてみませんか。まず、空き瓶や木箱を用意。そこに、消臭・吸湿効果のある重曹をたっぷり入れましょう。これだけでも効果はありますが、さら

にウッドチップや、アロマオイルを数滴垂らすと、見た目も香りもより豊かになります。仕上げに瓶の口を麻布やレースで覆い、麻紐で結べば完成。重曹は湿気を吸うと固まるので、取り替え時期も一目でわかります。使い終わった重曹は、そのままお掃除に活用できるのも嬉しいポイント。玄関やクローゼットの隅など、気になる場所にそっと添えてみてください。手作りの温かみと清潔感で、どんよりしがちな梅雨の空間を自分らしく整えてみませんか。

## おしえて! Dr. 住まいる

### 雨樋と外壁のメンテナンス

本格的な大雨シーズンを前に、屋外の点検を済ませましょう。特に雨どいの歪みやゴミの詰まり、外壁の細かなひび割れは要注意。これらを放置すると、雨水が建物内部へ浸入し、家屋の構造材を傷める原因になります。梅雨の晴れ間を利用して早めにチェックを行い、必要であれば専門家に相談して住まいの寿命を守りましょう。

